

景観通信

長太の大楠は、周辺の住民をはじめとして市内外から訪れるファンも多く、地域のシンボリックな存在となっています。平成24年7月20日、鈴鹿市景観計画に基づく景観重要樹木として指定しました。

名称：長太の大楠
指定年月日：平成24年7月20日
所在地：鈴鹿市南長太町2343番
所有者：宗教法人須伎神社
管理団体：大きくす保存会

大きくす保存会の取り組み



藁ひきの様子

南長太町第一自治会の会長が会長を務める「大きくす保存会」。現在約53名の方で活動されています。

草刈り、夏場の水まき、藁ひき、台風後の枯れ枝の除去等していただいております。樹木の状況によっては、土壌改良、伐採を行っていただいております。近年その樹勢の衰えが心配されていますが、「大きくす保存会」の活動により、樹木は管理・保護されています。

市制施行70周年記念事業として、写真展と絵画展を開催しました



写真展

「なご大きくす写友会※」のみなさまによる作品を展示しました。

20年前の大楠の姿や、現在では枯れてしまって見られない箇所など、昔の大楠の姿を展示していただきました。

※「なご大きくす写友会」
約20年前に発足し、現在は市内外含め9名のメンバーで活動中です。毎年4月に大楠の写真展を市民ギャラリーにて開催しています。

展示期間：平成24年11月5日(月)～11月11日(日)

長太小学校4年生、箕田小学校4年生の「長太の大楠」の作品を展示しました。

長太小学校4年生は、「大きくす保存会」が敷いたわらの上で大楠を見上げながら、箕田小学校4年生は、樹から少し離れた通りから大楠を描いてくれました。

身近で描くことで、地元の小学生にも大楠の雄大さを感じてもらえたのではないのでしょうか。

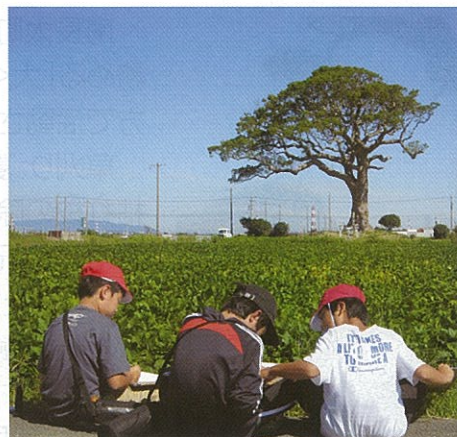
展示期間：平成24年10月29日(月)～11月4日(日)



長太小学校4年生のみなさん



箕田小学校4年生のみなさん



鈴鹿市の景観への取り組み

平成23年1月1日から「鈴鹿市景観計画」の運用を開始し、景観重要樹木の指定をしました。今後は、地域の方々、関係機関の協力を得ながら、樹木周辺の景観保全を進めていければと考えています。地域の特性にあわせて、景観法のいろいろな制度を活用し、市民の皆さんと一緒に「鈴鹿らしい景観」を、次の世代に引き継いでいきたいと思ひます。

■発行：鈴鹿市 都市整備部 都市計画課

〒513-8701 鈴鹿市神戸一丁目18番18号 TEL:059-382-9024 FAX:059-384-3938

E-mail:toshikekaku@city.suzuka.lg.jp

ホームページ：<http://www.city.suzuka.lg.jp/gyosei/plan/keikan/index.html>